



日本の文化を伝承する

副校長 野口 幸一

明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

昨年、日本中を歓喜の渦に巻き込んだサッカーワールドカップカタール大会。日本代表はドイツとスペインという、ワールドカップの優勝経験国から歴史的勝利を挙げ、世界中に大きな衝撃を与えました。選手やスタッフ、そして、森保監督のこれまでの努力は、我々の想像をはるかに超えるものであることは間違いありません。また、言われなき批判、悪質なインターネット上への書き込みをも跳ね返す、たくましく精神力にも頭が下がるばかりです。

さて、今回のワールドカップで話題になったのは、選手たちのプレーだけではなく、世界中のメディアがこぞって讚えたのが、日本のサポーターが行った、試合後のゴミ拾いでした。多くのサポーターが後にした客席に残り、日本のユニホームを着たサポーターがビニール袋を持ち、散らばったゴミを集めている姿が取り上げられたのです。日本のサポーターのゴミ拾いは、他国のサポーターにも波及しました。日本とは文化の異なる国々でも、「使ったところはきれいにしよう。」「自分のゴミは自分で片付けよう。」という、日本のよい文化や伝統に共感の輪が広がっていることに喜びを感じます。実はこの行為、日本がワールドカップに初出場した1998年のフランス大会にさかのぼります。スタジアムをサムライブルーに染めようと持ち込んだ青いごみ袋で、自然と観客席の掃除が始まり、次第に参加者も増えていき、現在に至っているそうです。ちなみに、このゴミ拾いについてはサポーターだけではなく、選手たちも、試合後のロッカールームを清掃しており、こちらも写真とともに各国で報道をされ、プレーだけでなく称賛的となっていました。

今回のサポーターによるゴミ拾いの件は、ワールドカップに出場をしていないインドでも大きな話題に。インドの日刊英字新聞である「ザ・タイムズ・オブ・インディア」が目撃し、日本の美化精神について、『日本のファンがスタジアムを掃除する。かっこいいけど、なぜ?』との見出しで記事にしました。記事では、「世界の子供たちは“綺麗好き”であることを教わるが、日本では“綺麗好き”を行動に移す。」とし、学校で子供たちが教室や廊下を掃除していることを紹介しています。日本に住んでいれば、学校で掃除をすることは当たり前だと考えてしまいがちですが、実は、世界的に見ると日本のように子供たちに掃除をさせている国は少数派。掃除をさせない理由として、子供の本分である学習に集中させるため、ということが一因にあるそうです。

しかし、新聞記事の続きでは、子供のころから学校で清掃をしていることのよさに言及し、「大人になっても、身の回りを綺麗にすることが日常的になっている。」と、スタジアムでのゴミ拾いもごく自然のことだと述べています。そして、記事はこのように締めくくられています。

「日本社会は、尊敬と礼儀、そして最も重要なことは、自分を育ててくれた社会に恩返しをするという考えに基づいて構築されている。掃除は、単に市民としての義務ではない。それは日本文化の本質であり、真の姿なのだ。」

日本には、世界に誇るべき文化や伝統、風習がたくさんあります。その一つが、今回のワールドカップで取り上げられた“使った場所は来た時よりも綺麗にする”という、日本が大切にしている道徳心です。他にも、“和を大切にすること”や“礼儀正しさ”、“おもてなしの心”など、数え上げればきりがありません。全世界から、たくさんの情報が飛び交う現代社会。これから、ますます異文化交流も増えるでしょう。だからこそ、我々の住む日本のよさを、改めて認識できる時でもあるのではないのでしょうか。

新しい年、令和5年が始まりました。日本のよき文化や伝統を、後の時代へ受け継ぐのは間違いなく子供たちです。学校だけではなく、家庭や地域が一体となって、その子供たちへ大切なことを伝え、育んでいきたいと思ひます。本年も、南田中小学校教職員一同、全力で教育活動へ取り組んでまいります。保護者の皆様、地域の皆様には、ご理解とご協働を賜りますよう、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

【土曜授業・学校公開について】

A・Bグループで時間を分け、授業公開をいたします。グループ分け名簿は、ホームページに掲載しています。お子さんのクラスと出席番号をご確認ください。(出席番号が分からない場合には、担任まで連絡帳にてお問い合わせください。)

- 1・2校時：Bグループ
 - 3・4校時：Aグループ
- ⇒ 11月の土曜授業と、AとBが入れ替わっています。

* 密を避けるため、参観人数は1家庭1名とします。参観者を途中で交代する場合は、校舎外でお願いいたします。

1月の行事予定

| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|---|--|---|---|---|--|-----------|
| 9 冬季休業日終 | 10 始業式 給食始 4 4 4 4 4 4 | 11 身体計測(5, 6) 社会科見学(3) 委員会活動 4 4 4 4 5 5 | 12 心ふれ 身体計測(2, 4) 5 5 6 6 6 6 | 13 SC 身体計測(1, 3) 5 5 6 6 6 6 | 14 土曜授業 学校公開日 薬物乱用 防止教室(6) 4 4 4 4 4 4 | 15 |
| 16 心ふれ 学級の時間 体力ぐんぐんUP始 身体計測(み) クラブ ←クラブ見学(3) 個人面談始(み) 4 5 6 6 6 6 | 17 学級の時間 5 5 5 6 6 6 | 18 煙体験(1) 5 5 5 5 5 5 | 19 心ふれ 学級の時間 歯磨き指導(4) 地域未来塾 5 5 6 6 6 6 | 20 SC 学級の時間 5 5 6 6 6 6 | 21 連合図工展始 5 5 6 6 6 6 | 22 |
| 23 心ふれ 全校朝会 4 5 5 5 5 5 | 24 学級の時間 中休み集会(1組) 個人面談終(み) 5 5 5 6 6 6 | 25 連合図工展鑑賞(み) 5 5 5 5 5 5 | 26 心ふれ 学級の時間 校外学習(み) 地域未来塾 連合図工展終 5 5 6 6 6 6 | 27 SC 学級の時間 中休み集会(2組) 障がい理解授業 (5-2) 5 5 6 6 6 6 | 28 5 5 6 6 6 6 | 29 |
| 30 心ふれ 学級の時間 社会科見学(5) 4 5 5 5 6 5 | 31 学級の時間 4校合同交流会(み) 5 5 5 6 6 6 | 1 5 5 5 5 5 5 | 2 心ふれ 5 5 6 6 6 6 | 3 SC 障がい理解授業 (5-1) 5 5 6 6 6 6 | 4 | 5 |

※ SC：スクールカウンセラー出勤日 心ふれ：心のふれあい相談員出勤日

※ 各日の数字は授業時数です。1番左が1年生、1番右が6年生です。

※ みなみん学級の下校時刻については、学級で配布した月行事予定表をご確認ください。

【1月の生活目標】

寒さに負けない生活をしよう

1年の中で最も寒い時期になりました。屋外の寒さを避けるだけでなく、新型コロナウイルス感染症の影響もあって、室内で過ごすことが多くなり、日常的に運動不足になっているお子さんもいるように感じます。しかし、子供たちにとって適度な運動は、心身の健康に良い影響があり、強い身体と元気な心を育みます。寒い時期だからこそ、自分からすすんで運動に取り組んでほしいと思っています。

1月は、学校全体で取り組む「なわとび旬間」があります。なわとびは、心肺機能の強化や持久力の向上につながるだけでなく、自分の体を巧みに操作する「巧緻性」を高めることにも効果的です。学校にいる時間だけでなく、放課後や休日にもすすんで縄跳びに取り組んでほしいと思います。

激しい運動を行うと、寒い時期でも汗をかきます。清潔なハンカチや汗ふきタオルを持つこと、調節しやすい服装をすることなど、お子さんへの声掛けや準備などのご協力を、引き続きお願いいたします。

(生活指導主任 江澤 充)

【『愛のハガキ運動』ご寄付へのお願い】

学校だより12月号でもお知らせしましたが、年賀状等の郵便はがきの書き損じたものや余ったもの、および未使用切手等がございましたら、何枚でも結構ですので、ご寄付くださいますようお願い申し上げます。ご協力いただける方は、1月末日までに各担任までお願いいたします。

【連合図工展・連合書き初め展 開催のお知らせ】

昨年度は、新型コロナウイルス感染症予防対策のため、練馬区立美術館で行われる「連合図工展」と「連合書き初め展」は中止となりましたが、今年度は開催することとなりました。本校から選出した代表作品だけでなく、区内小中学校の児童生徒の中から選ばれた力作が展示されます。

詳しくは、後日配布されます「令和4年度 練馬区小学校連合図工展のご案内」「令和4年度 第70回 練馬区小中学校連合書き初め展のご案内」をご覧ください。

【『体力ぐんぐんUP』のお知らせ】

今年度も、体力向上に向けて『体力ぐんぐんUP』の活動を行います。内容は、「短縄」「持久走」「体育委員からのミッション5」です。「短縄」は、各学年に合わせた内容のなわとびカードを使って技に挑戦したり、持久跳び行ったりします。「持久走」は、目標を決めて自分のペースで長く走り続けることで、健康維持、体力向上をねらいとしています。「体育委員からのミッション5」は、校庭にある遊具を使った運動です。体育委員が、学年のレベルに合わせて内容を考えました。

まずは、1月16日(月)から「なわとび旬間」で、短縄を行っていきます。一人一人がめあてをもって取り組み、できるようになったことを増やして自己肯定感を高めるとともに、寒さに負けない強い身体をつくっていきます。

【期間】 1月16日(月)～2月17日(金)

(体育主任 小久保 菜摘)